

---

亀岡市  
地域福祉に関するアンケート調査報告書  
【地域福祉関連活動団体等】

---

令和5年10月  
亀岡市



# I . 団体アンケート調査実施概要

---

## 1. 調査の目的

本調査は、市内で活動している事業所や団体の皆様の現在の状況や地域の活動等に関する率直なご意見やご要望などを把握し、「亀岡市地域福祉計画」の策定のための基礎資料とすることを目的に実施しました。

## 2. 調査概要

- 調査対象: 亀岡市で活動している事業所・団体
- 調査期間: 令和5年7月21日～8月11日
- 調査方法: 郵送による配布・回収
- 配布数: 57件
- 有効回収数: 38件
- 有効回収率: 66.7%

## 3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n(number of case)」は、集計対象者総数を表しています。

## Ⅱ. 団体アンケート調査結果

---

# 1. 回答者について

貴事業所・団体のことについて教えてください。〈記述回答〉

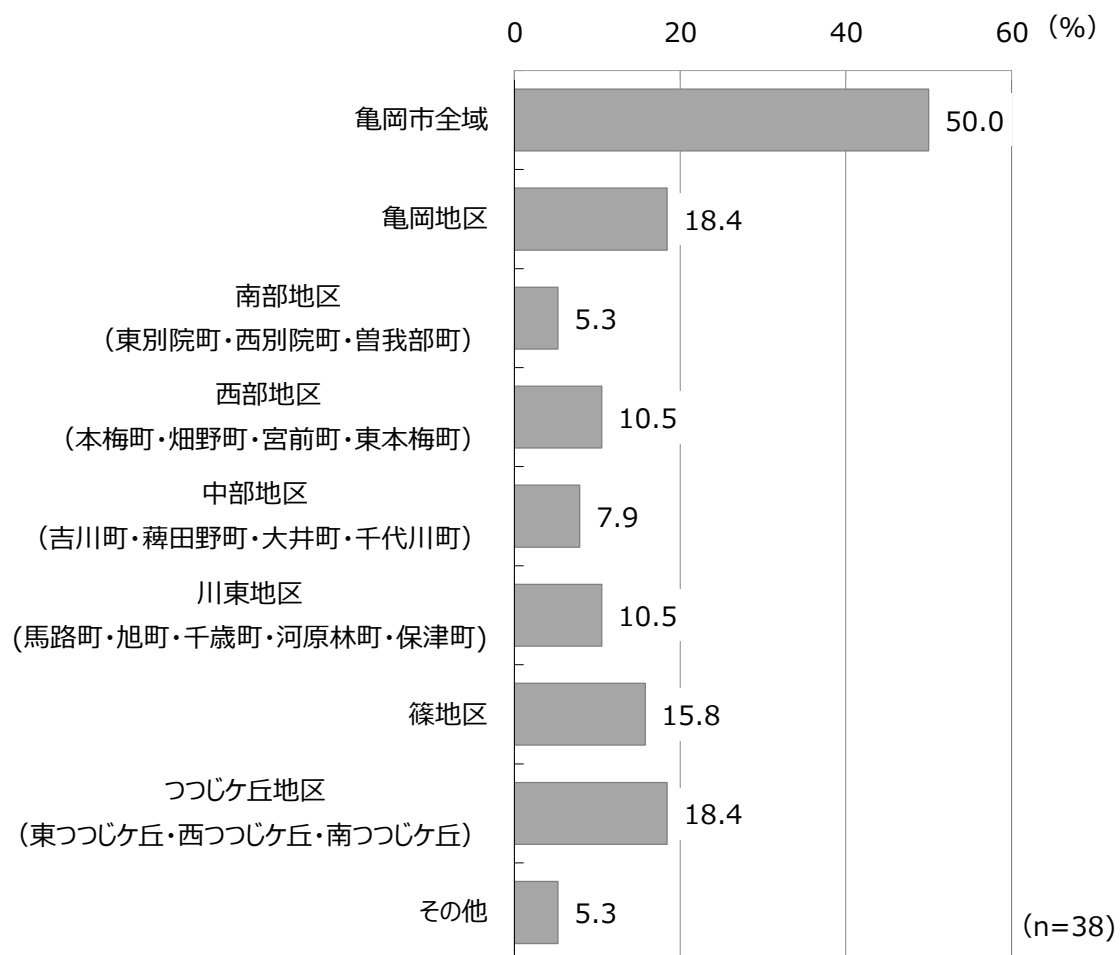
No	事業所名・所属団体の名称	職員・会員数(名)	事業所年数・活動年数(年)
1	社会福祉法人 信和福祉会 圭の家	110	32
2	社会福祉法人 倣裏会	220	40
3	社会福祉法人 友愛会	153	50
4	社会福祉法人恵裕会 めぐみの園保育園	89 職員 75名 役員 14名	46
5	社会福祉法人 全国手話研修センター 亀岡市生活相談支援センター	センター4名 法人全体 74名	10 法人全体 20年
6	亀岡地域包括支援センター	8	16
7	川東地域包括支援センター	4	10
8	中部地域包括支援センター	5	2
9	篠地域包括支援センター	4	18
10	亀岡地区東部社会福祉協議会	評議員 40 会員 2,017	14
11	亀岡地区中部社会福祉協議会	25	13
12	宮前町地区社会福祉協議会	45	13
13	保津町社会福祉協議会	1,472	20
14	曾我部町地区社会福祉協議会	27	30
15	本梅町地区社会福祉協議会		15
16	蕨田野町地区社会福祉協議会	13(役員) 本会会員は蕨田野小学 区の全ての住民	平成 20年 2月 23日設立
17	東つつじヶ丘地区社会福祉協議会	スタッフ 17 催事参加者総数 100名	12
18	南つつじヶ丘地区社会福祉協議会	6	約 15
19	篠町自治会	6,000	60
20	特定非営利活動法人 諸星塾	15	2011 平成 23
21	旭サポートカー委員会	6	2
22	TUNAGO TETOTE	9	3
23	パーキンソンサロン 野ばらの会	9	3
24	介護相談リンクす	8	13
25	お話し訪問ボランティア 笑顔くらぶ	6	11
26	朗読ボランティア こすもすの会		44

No	事業所名・所属団体の名称	職員・会員数(名)	事業所年数・活動年数(年)
27	亀岡手話サークル「四季の会」	30	31
28	亀岡手話サークル「年輪の会」	37	49
29	虹の会(視覚障害者の介助ボランティア)	12	15
30	障がい者乗馬サークル「バカラッパ」	7	11
31	拡大文字ボランティア 文月の会	4	31
32	傾聴ボランティア なごみ	9	12
33	亀岡市要約筆記 ボランティアサークル こだま	12	35
34	亀岡市ケアマネジャー連絡会	110	15
35	(福) 亀岡市社会福祉協議会		法人化 50
36	亀岡市身体障害者福祉協会	150	70
37	亀岡市青少年育成地域活動協議会	役員 23 亀岡市民全世帯	約 43
38	亀岡市老人クラブ連合会	1,442	59

## 2. 業務・活動について

### 問1 貴団体が活動されている主な地域を教えてください。〈複数回答〉\*いくつでも

活動されている主な地域をみると、「亀岡市全域」が50.0%と最も高く、次いで「亀岡地区」「つじヶ丘地区」がともに18.4%となっています。

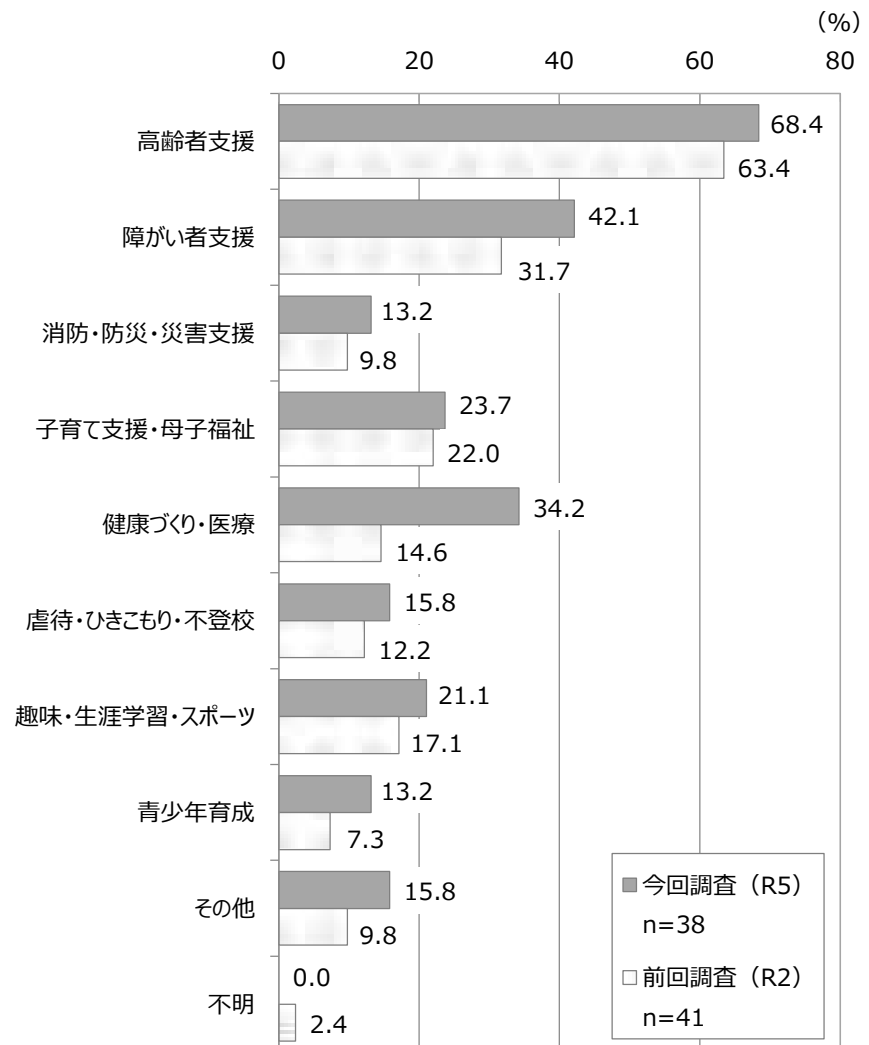




## 問2 貴団体の活動分野や活動内容は次のうちどれですか。 <複数回答>\*いくつかでも

活動分野や活動内容をみると、「高齢者支援」が68.4%と最も高く、次いで「障がい者支援」が42.1%、「健康づくり・医療」が34.2%となっています。

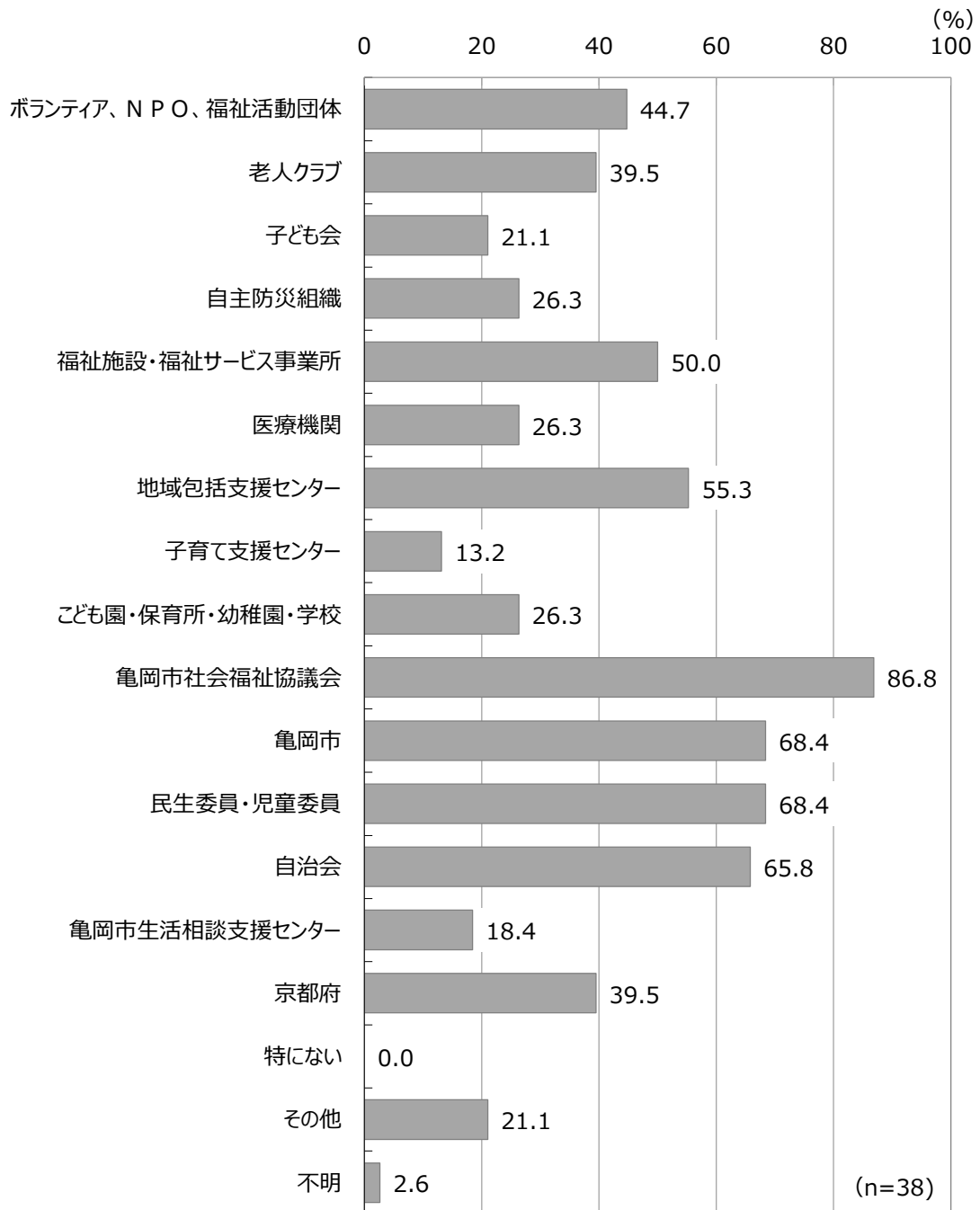
前回調査と比較すると、「健康づくり・医療」が19.6ポイント高くなっています。



#### 問4 地域福祉活動等に取り組まれている中で、つながりのある組織や団体はありますか。

〈複数回答〉\*いくつでも

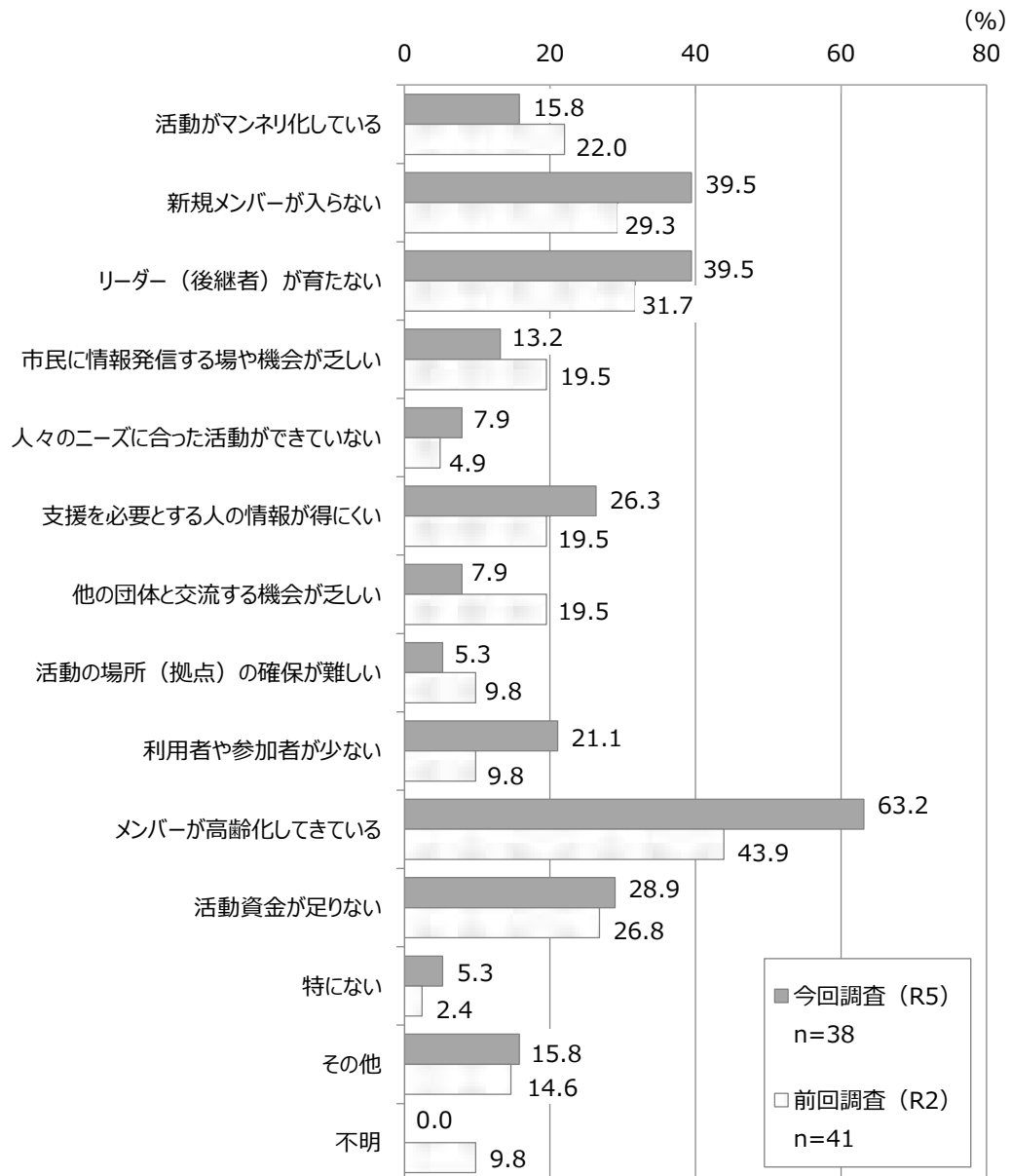
つながりのある組織や団体を見ると、「亀岡市社会福祉協議会」が 86.8%と最も高く、次いで「亀岡市」「民生委員・児童委員」がともに 68.4%、「自治会」が 65.8%となっています。



**問6 貴団体が活動を行う上で困っていることはありますか。** <複数回答>\*5つまで

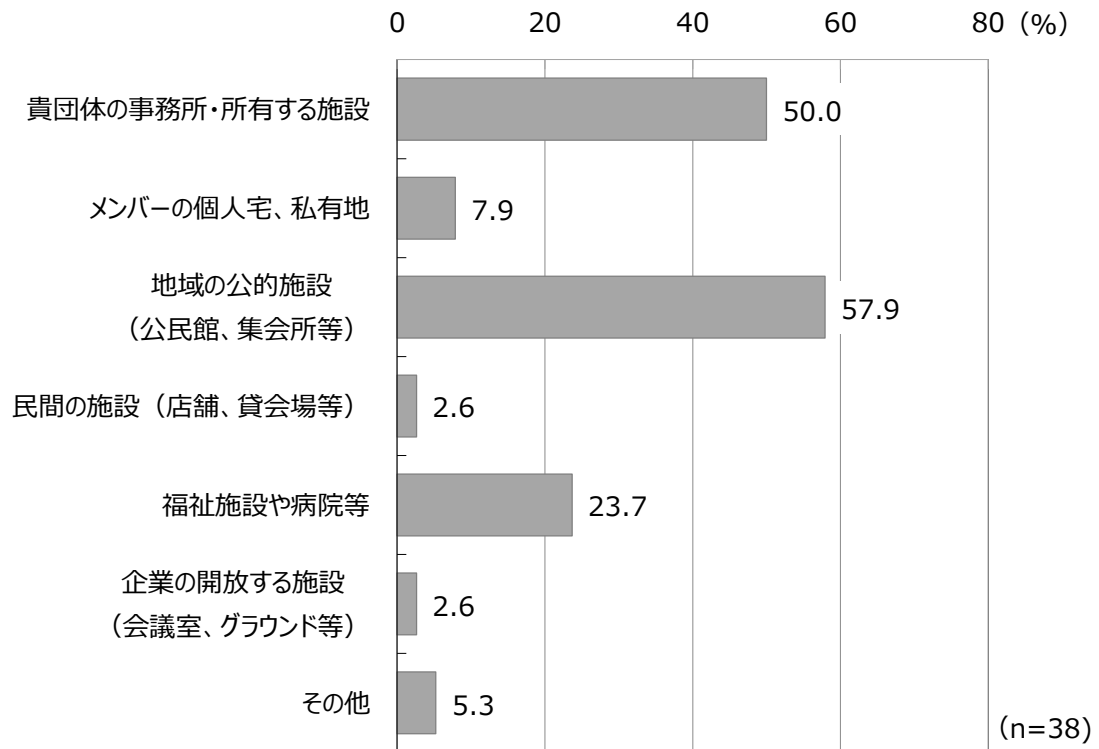
活動を行う上で困っていることをみると、「メンバーが高齢化してきている」が63.2%と最も高く、次いで「新規メンバーが入らない」「リーダー（後継者）が育たない」がともに39.5%となっています。

前回調査と比較すると、「メンバーが高齢化してきている」は19.3ポイント、「利用者や参加者が少ない」が11.3ポイント高くなっています。



**問7 貴団体が活動を行う上で、どのような場所を利用していますか。** <複数回答>\*いくつでも

活動を行う上でどのような場所を利用しているかをみると、「地域の公的施設（公民館、集会所等）」が57.9%と最も高く、次いで「貴団体の事務所・所有する施設」が50.0%となっています。



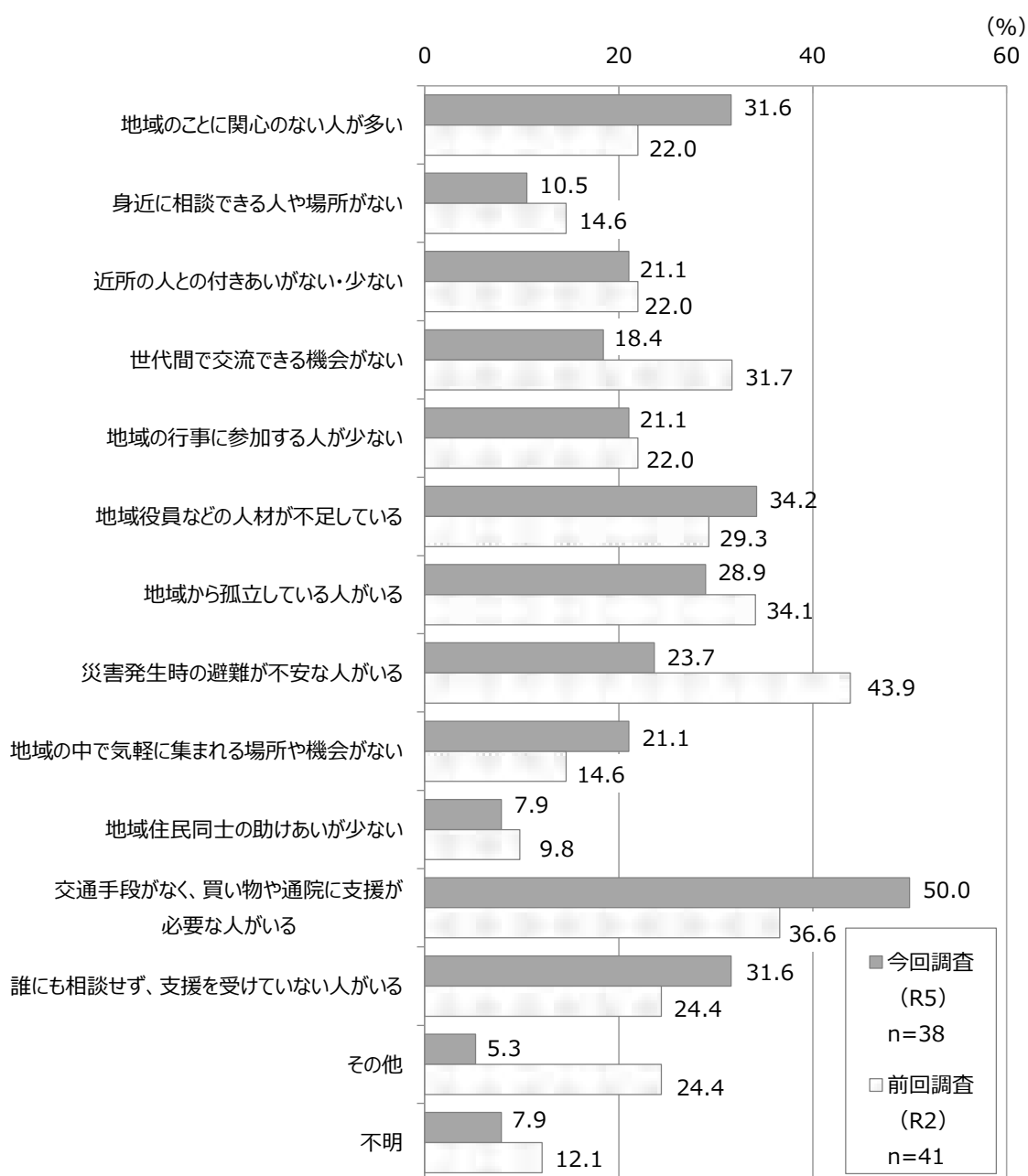
### 3. 地域について

#### 問8 貴団体が普段活動されている中で、地域の問題点・課題とを感じるものはありますか。

〈複数回答〉\* 5つまで

地域の問題点・課題とを感じるものをみると、「交通手段がなく、買い物や通院に支援が必要な人がいる」が50.0%と最も高く、次いで「地域役員などの人材が不足している」が34.2%、「地域のことに興味のない人が多い」「誰にも相談せず、支援を受けていない人がいる」がともに31.6%となっています。

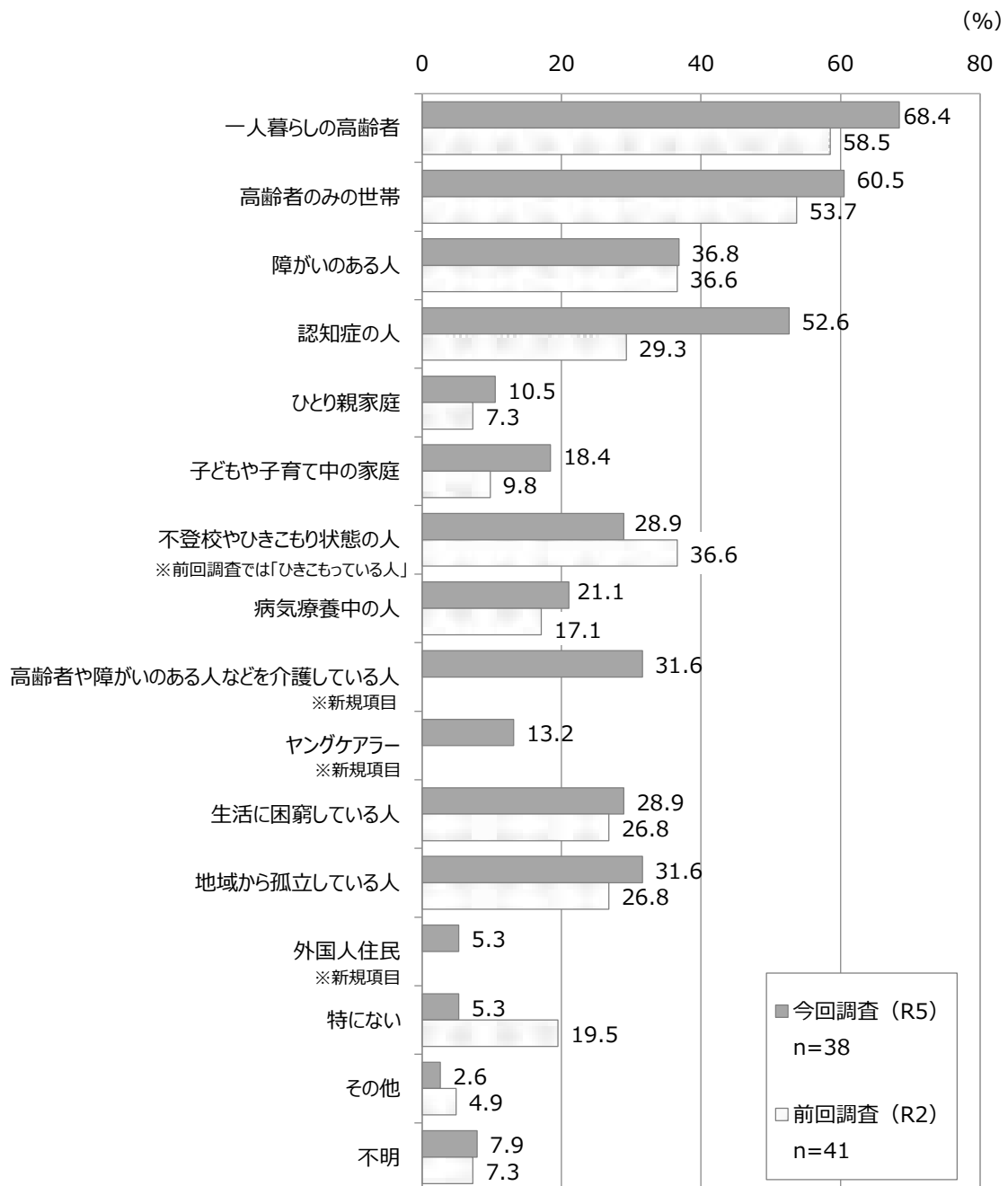
前回調査と比較すると、「交通手段がなく、買い物や通院に支援が必要な人がいる」が13.4ポイント、「地域のことに興味のない人が多い」が9.6ポイント高くなっています。



**問9 普段の活動の中で、次のような見守り等の支援が必要な人や気がかりな人を発見することがありますか。** <複数回答>\*いくつでも

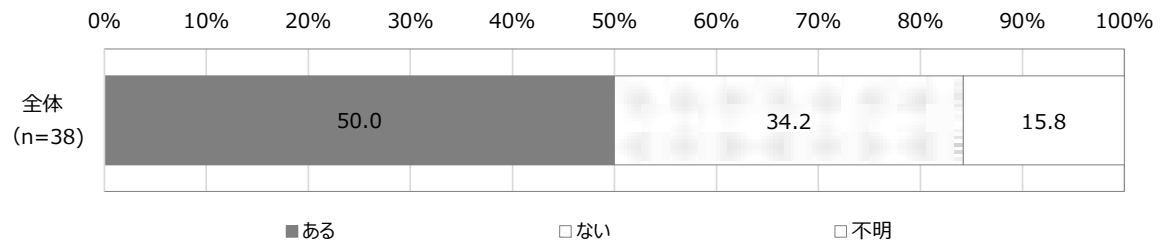
普段の活動の中で発見する、見守り等の支援が必要な人や気がかりな人をみると、「一人暮らし高齢者」が68.4%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が60.5%、「認知症の人」が52.6%となっています。

前回調査と比較すると、「認知症の人」は23.3ポイント、「子どもや子育て中の家庭」は8.6ポイント高くなっています。



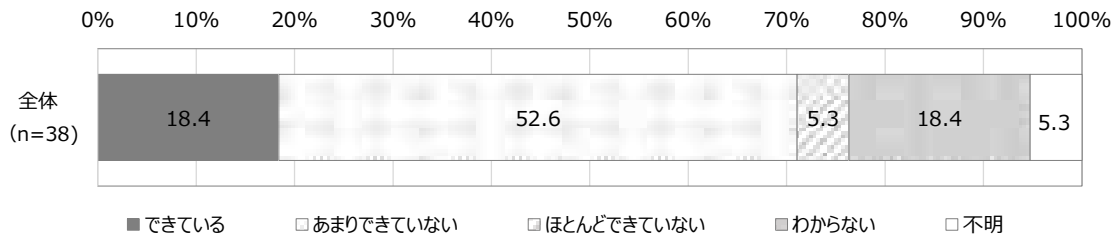
**問10 活動中に問9のような方を対応された中で、貴団体単独では解決が困難で、他の団体や関係機関と連携した事例はありますか。** <単数回答>

他の団体や関係機関と連携した事例をみると、「ある」が50.0%、「ない」が34.2%となっています。



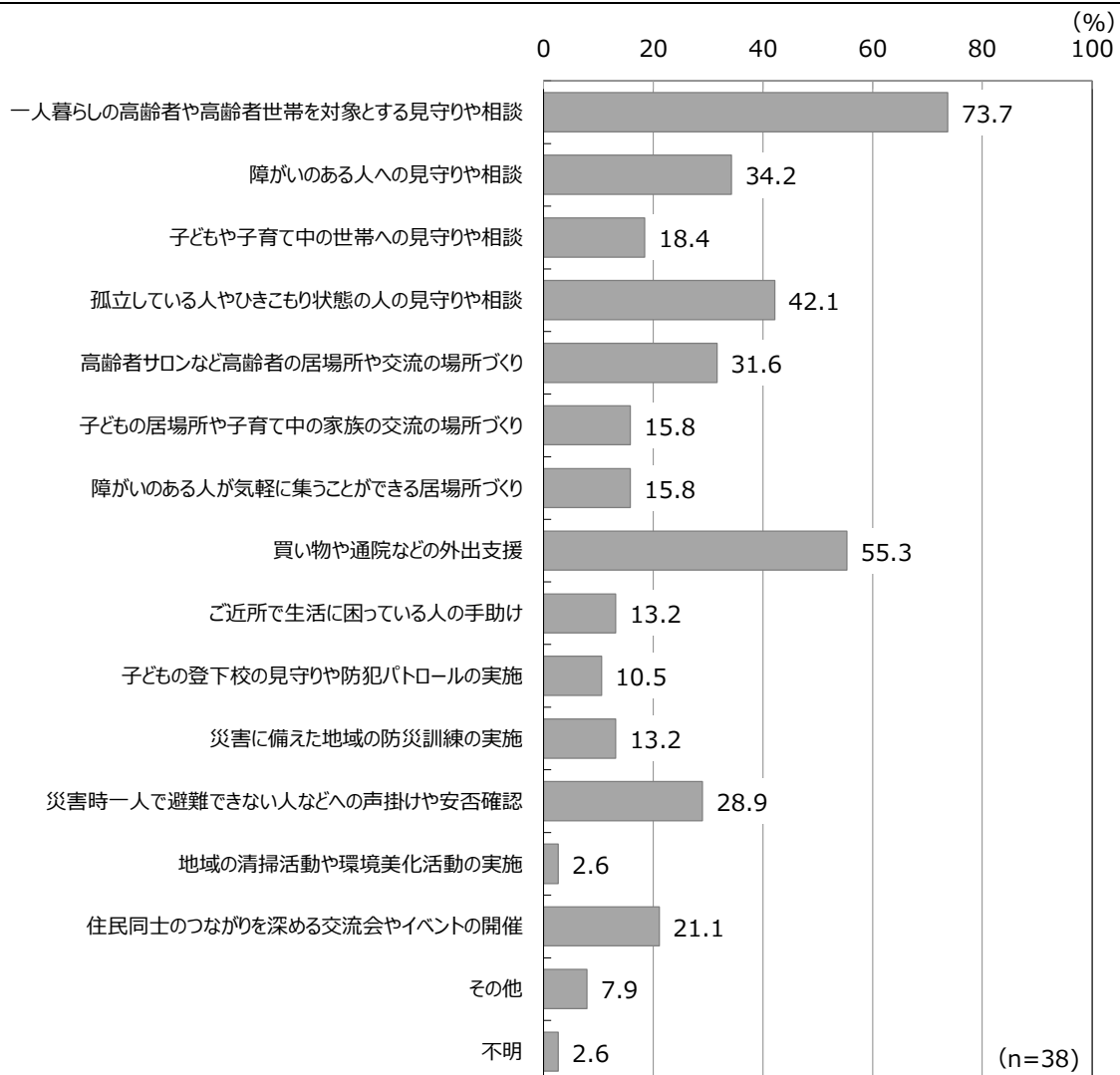
**問11 亀岡市の福祉に関する相談窓口や福祉サービスなどの情報は住民に周知できていると思いますか。** <単数回答>

亀岡市の福祉に関する情報が住民に周知できているかをみると、「できている」は18.4%、『できていない（「あまりできていない」「ほとんどできていない」の合計）』が57.9%となっています。



**問12 誰もが地域で安心して暮らしていくためには、地域ではどのような地域福祉の活動が必要だと思いますか。** <複数回答>\* 5つまで

地域で必要だと思う地域福祉の活動をみると、「一人暮らし高齢者、高齢者世帯を対象とする見守りや相談」が73.7%と最も高く、次いで「買い物や通院などの外出支援」が55.3%、「孤立している人やひきこもり状態の人の見守りや相談」が42.1%となっています。





**問13 亀岡市の福祉行政に対して、住民からどのような要望等を聞かれますか。具体的に記入してください。** <記述回答>

---

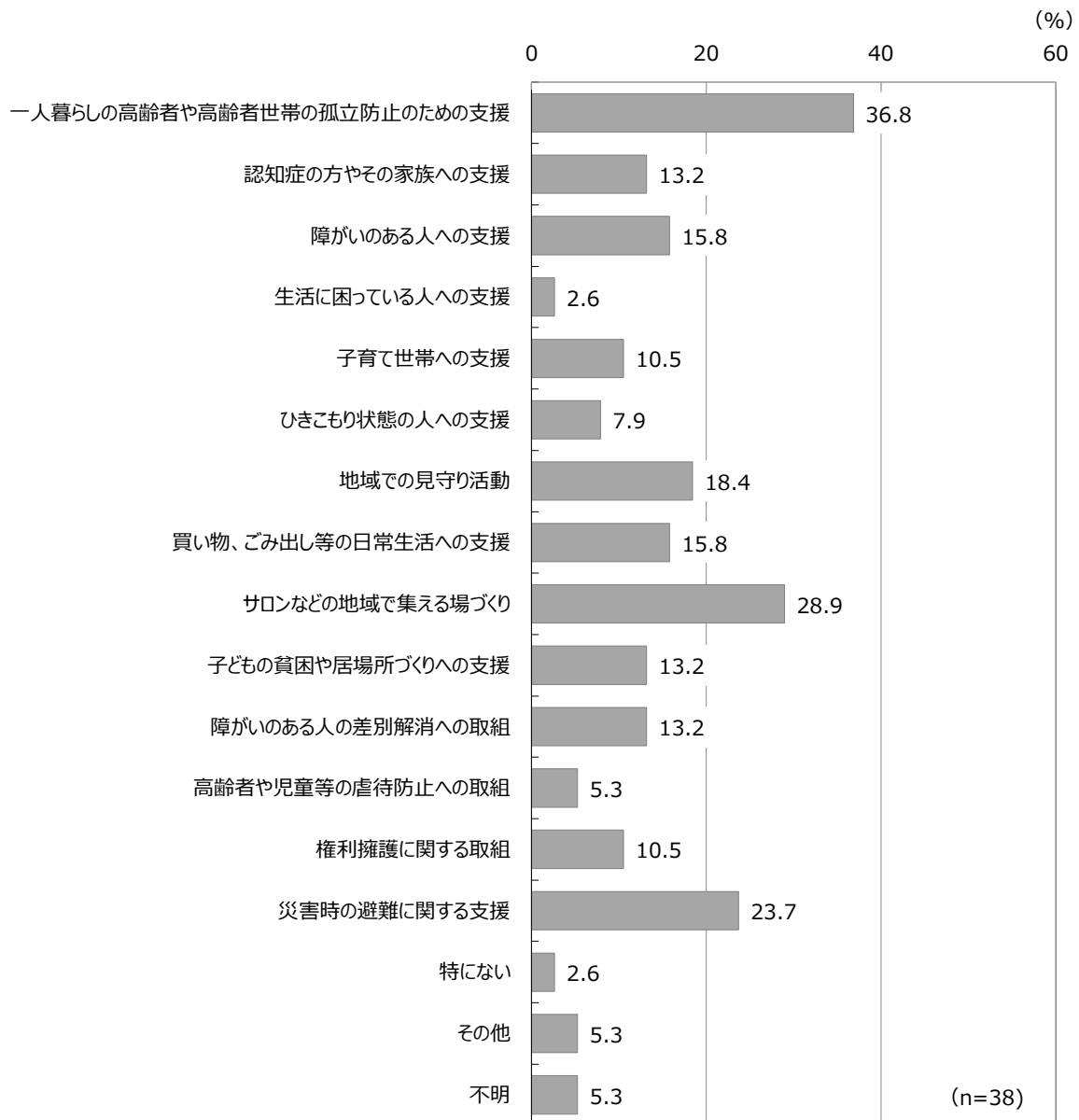
亀岡市の福祉行政に対して、住民から聞かれる要望については、移動支援に関する要望、情報提供に関する要望、相談窓口に関する要望などの意見があがっています。

---

## 4. 今後について

### 問14 貴団体が今後取り組みたいと考えている活動はありますか。〈複数回答〉\* 3つまで

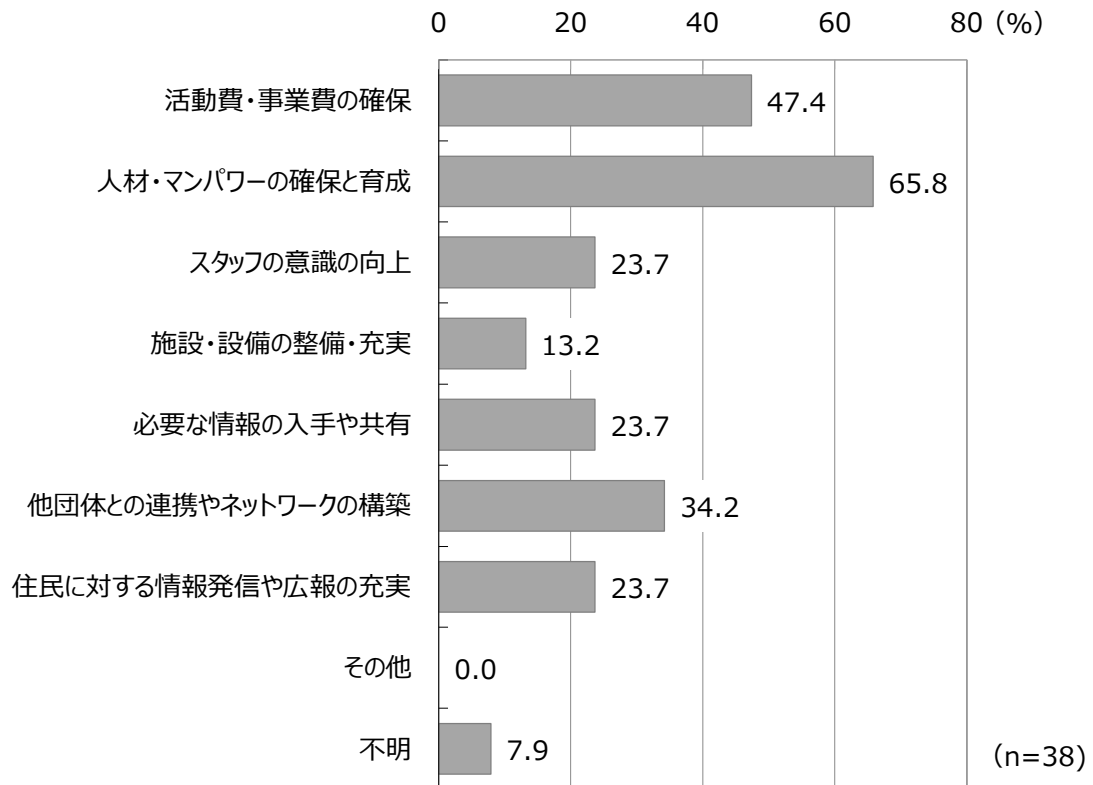
今後取り組みたいと考えている活動をみると、「一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の孤立防止のための支援」が36.8%と最も高く、次いで「サロンなどの地域で集える場づくり」が28.9%、「災害時の避難に関する支援」が23.7%となっています。



### 問15 今後、貴団体が、地域福祉の活動を行う上で必要なことは何ですか。

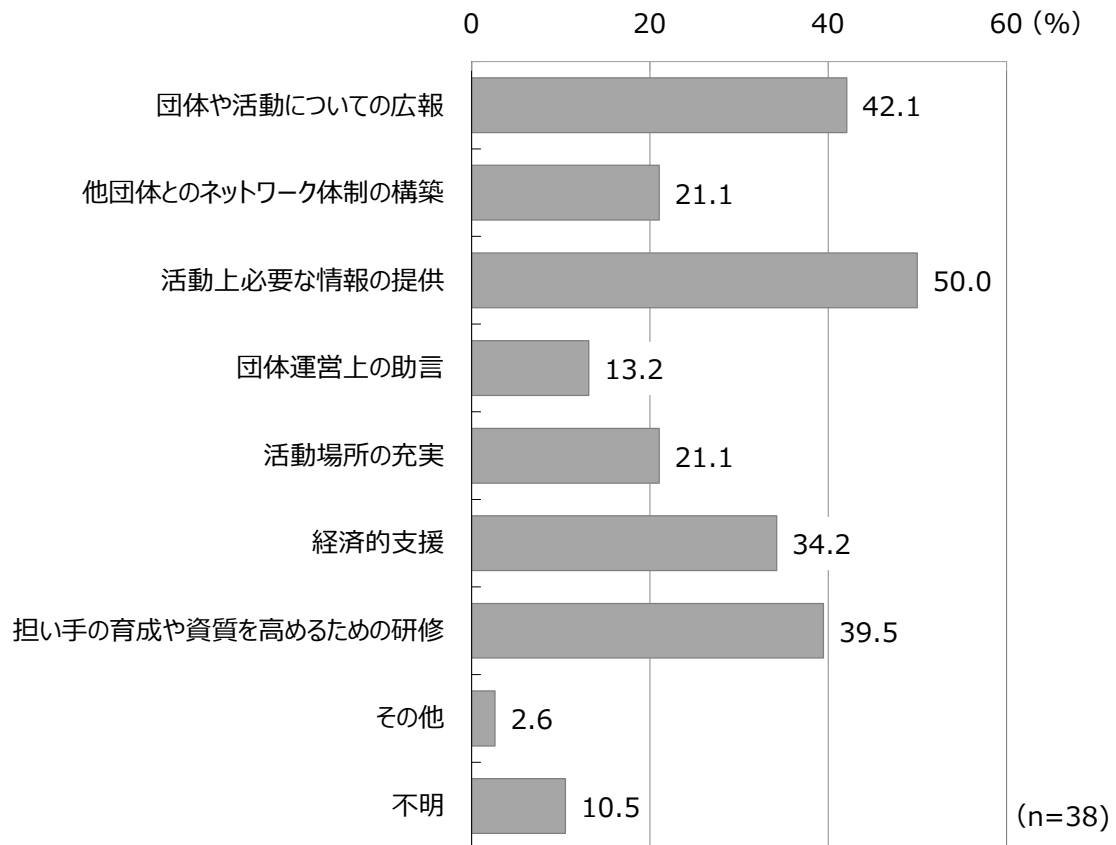
〈複数回答〉\* 3つまで

地域福祉の活動を行う上で必要なことをみると、「人材・マンパワーの確保と育成」が65.8%と最も高く、次いで「活動費・事業費の確保」が47.4%、「他団体との連携やネットワークの構築」が34.2%となっています。



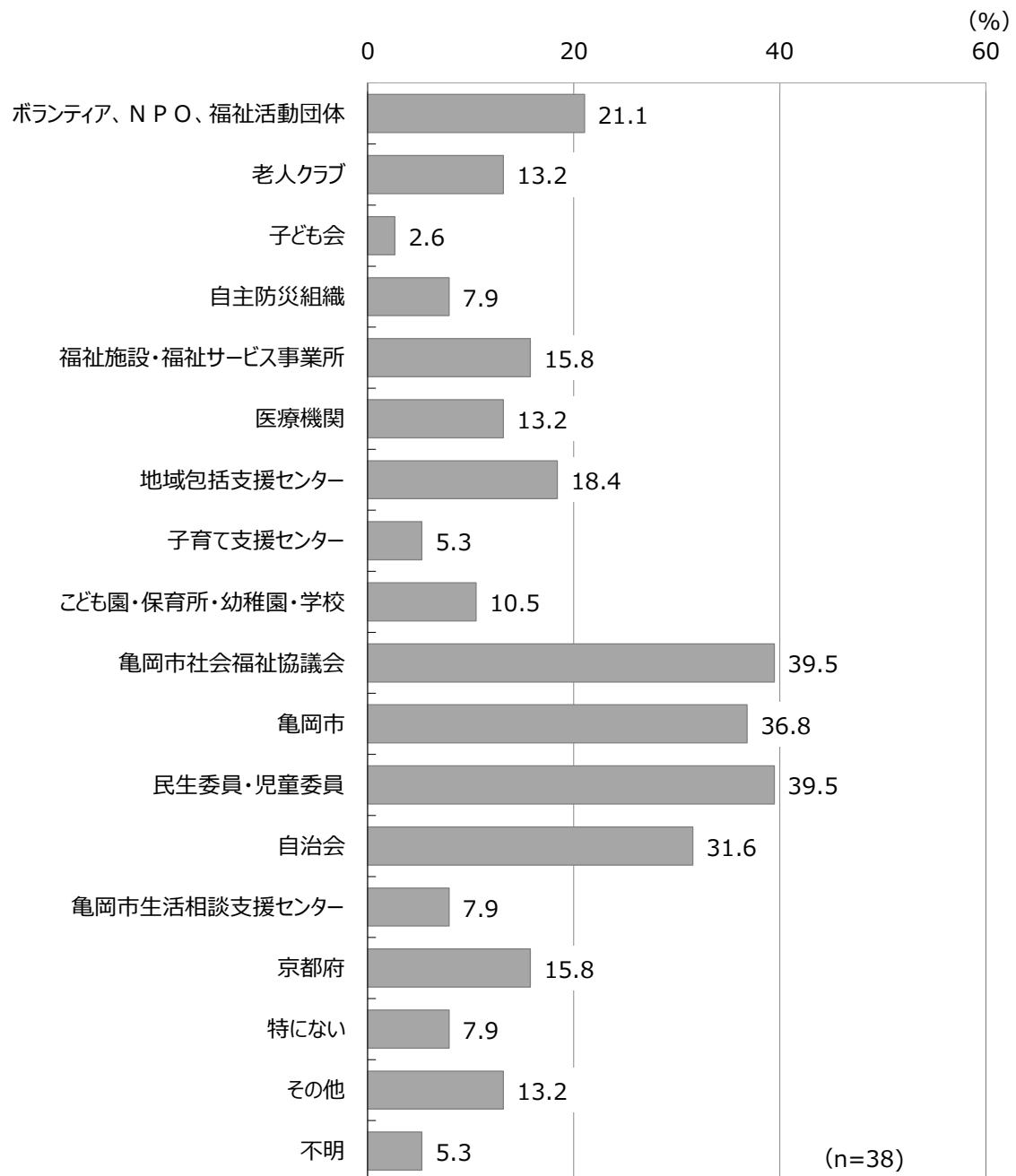
問16 活動していく上で、行政に望むことはありますか。 <複数回答>\* 3つまで

活動していく上で、行政に望むことをみると、「活動上必要な情報の提供」が 50.0%と最も高く、次いで「団体や活動についての広報」が 42.1%、「担い手の育成や資質を高めるための研修」が 39.5%となっています。



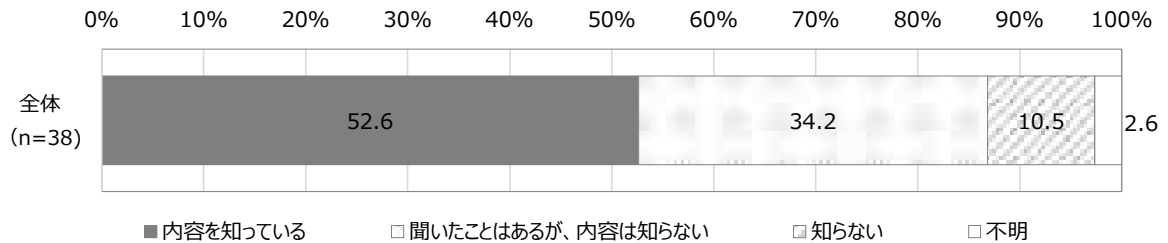
問17 活動していく上で、今後連携したい組織や団体はありますか。〈複数回答〉\* 5つまで

活動していく上で、今後連携したい組織や団体をみると、「亀岡市社会福祉協議会」「民生委員・児童委員」がともに39.5%と最も高く、次いで「亀岡市」が36.8%となっています。



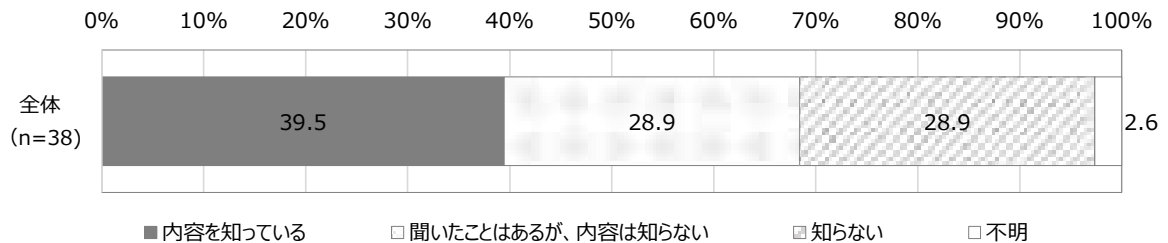
### 問18 亀岡市地域福祉計画について知っていますか。〈複数回答〉

亀岡市地域福祉計画の認知度をみると、「内容を知っている」が52.6%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が34.2%、「知らない」が10.5%となっています。



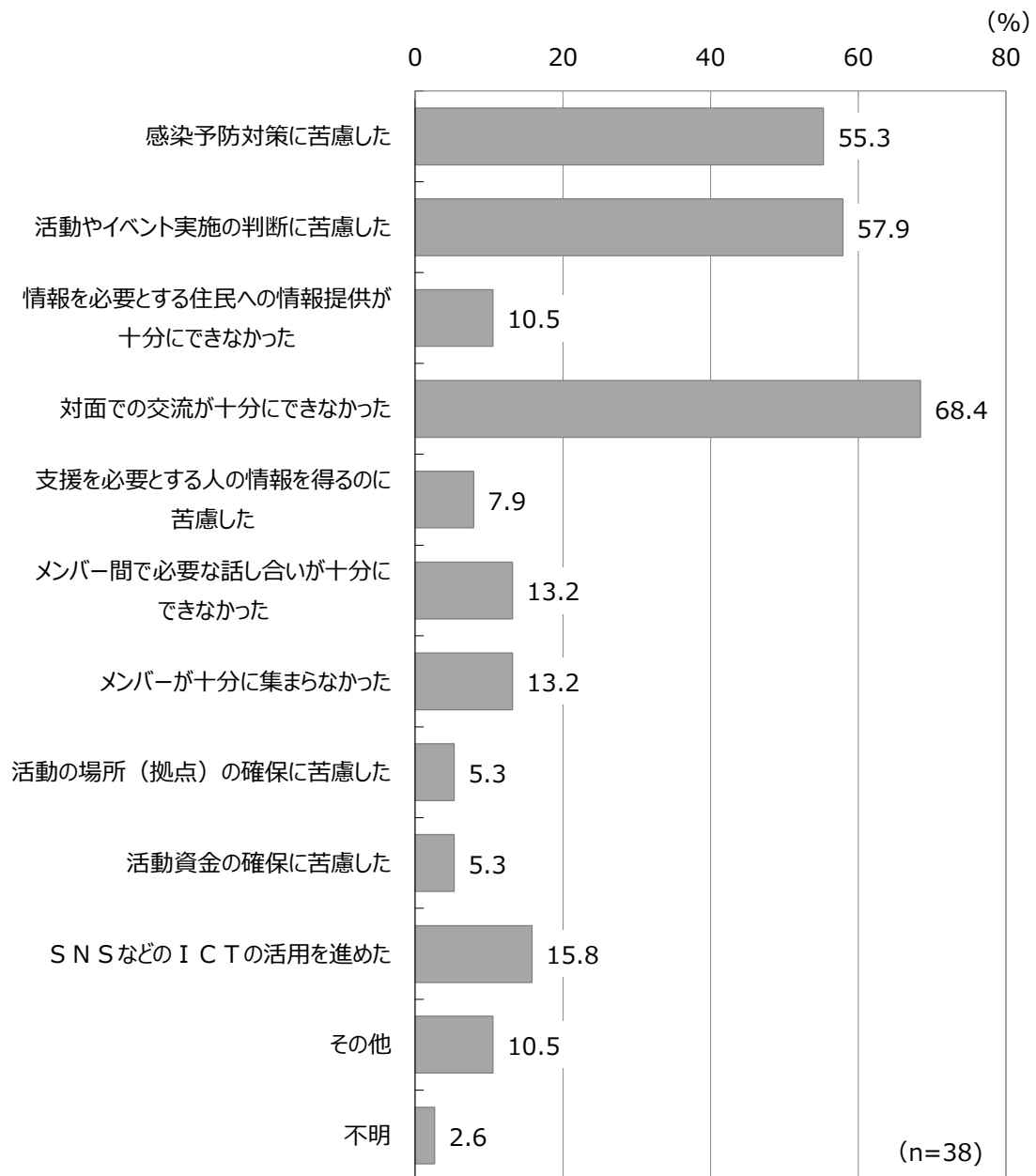
### 問19 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を構築する重層的支援体制整備事業について知っていますか。〈複数回答〉

重層的支援体制整備事業の認知度をみると、「内容を知っている」が39.5%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「知らない」がともに28.9%となっています。



**問20 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、活動にどのような影響がありましたか。** <複数回答>\* 3つまで

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による活動の影響をみると、「対面での交流が十分にできなかった」が68.4%と最も高く、次いで「活動やイベント実施の判断に苦慮した」が57.9%、「感染予防対策に苦慮した」が55.3%となっています。



---

亀岡市 地域福祉に関するアンケート調査  
【結果報告書】

発行年月：令和5年10月

発行：亀岡市

住所：〒621-8501 京都府亀岡市安町野々神8番地

TEL：0771-25-5029 FAX：0771-24-3070

---